

# 取手二高で「IT安全教室」

## ネットの被害 対処法を学ぶ



県立取手二高(菊地博校長、生徒四百九十一人)でこのほど、インターネット・携帯電話・ゲーム機などの被害・弊害から身を守るために「IT安全教室」が開かれた。生徒たちは寸劇でIT犯罪のケースを知り、万一被害に遭った場合の対処法、IT機器の正しい使い方などについて指導を受けた。

同教室は、同校PTA(水野正会長)とNPO法人総合教育支援グループ・スクールサポートコンソーシアム(石崎真一理事長)、NPO法人・情報技術普及促進コンソーシアムが開催した。アタルトサイトやネットオークション詐欺といった携帯電話やインターネットなどのIT機器を使っての問題や犯罪が増加。それに伴って被害・弊害も増えていることから、被害に遭った場合の対処法を学び、ネット犯罪防止を図ってもらうのが目的。

### 寸劇で犯罪事例紹介

同教室は、同校PTA(水野正会長)とNPO法人総合教育支援グループ・スクールサポートコンソーシアム(石崎真一理事長)、NPO法人・情報技術普及促進コンソーシアムが開催した。アタルトサイトやネットオークション詐欺といった携帯電話やインターネットなどのIT機器を使っての問題や犯罪が増加。それに伴って被害・弊害も増えていることから、被害に遭った場合の対処法を学び、ネット犯罪防止を図ってもらうのが目的。

寸劇は体育館で開かれ、男女五人がそれぞれの役に分かれて出演。電子メールで知った女性を呼び出し、睡眠薬入りのジュースを飲ませ、暴行や脅迫を働く「出会い系サイト」のケース、携帯電話やパソコンで商品注文、料金を先払いしたが商品が届かなかったり、別の商品が送られてきた詐欺目的の「ネットショッピング」のケースのほか、「架空請求」「振り込め詐欺」「ネット掲示板」の五つのケースを演じた。

「出会い系サイト」の被害ケースを取り上げた寸劇。県立取手二高